

プロ野球観戦ツアー

福岡ソフトバンク VS 埼玉西武

銀水校区まちづくり協議会では、令和4年度にはじめての企画である『プロ野球観戦ツアー』を9月3日と4日の2日間実施しました。コロナ禍の中での実施で参加者が少なく残念でしたが、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。



校区史跡巡り

銀水校区には、史跡があちこちに 있습니다。コロナ対策のため、校区体育祭の代わりとして、史跡巡りを令和4年10月23日に行いました。

小学生から大人まで50名以上の参加があり、校区の歴史を知ることが出来ました。



銀水校区まちづくり協議会 10周年記念誌 概要版

いつまでも
住み続けたい銀水校区



銀水校区まちづくり協議会

目次

記念誌発刊にあたり 1

魅力あるまちづくりをめざし 2

銀水校区まちづくり協議会 組織図 4

銀水校区まちづくり協議会行事 5

 花いっぱい絆プロジェクト 6

 クリーンデー 6

 子どもの遊び場 7

 バスハイク 7

 校区体育祭 8

 ニュースポーツ大会 8

 レクリエーションゲーム大会 9

 球技大会 9

 防災訓練 10

 防災体験学習会 10

 愛の献血会 11

 早期発見・早期治療 11

 安心安全を願い 12

 どんど焼き 12

 竹林の整備 裏表紙裏

 筍掘とバーベキュー会 裏表紙裏

 プロ野球観戦ツアー 裏表紙

 校区史跡巡り 裏表紙



発行日	2023年3月5日
発行	銀水校区まちづくり協議会
責任者	会長 森本 正人
印刷	株式会社 江崎印刷所

記念誌発刊にあたり



銀水校区まちづくり協議会
会長 森本 正人

銀水校区まちづくり協議会が発足し、令和4年度で10年目を迎えました。

節目の年にあたり、10年を振り返り、記念誌を発刊する運びとなりました。ここに至るまでの関係者の皆さん方には、本協議会への永きにわたるご支援とご協力に対し、心から感謝申し上げます。

地域の親睦と融和、安心安全で住みよい環境を目的として『いつまでも住み続けたい銀水校区』を目指し、体育事業・健康推進事業、ふれあい事業などを行ってきました。

体育行事においては、若年層の取り組みが厳しい状況で課題を抱えています。

バスハイク、筍掘・バーベキューは、年々参加者が増え悲鳴をあげるほどになりました。

銀水小学校4年生の『花いっぱい絆プロジェクト』は、学校と子どもたちとの距離が非常に近くなったような気がします。

平成28年10月2日には、久福木保育園の移転に伴い、その園舎を利用し、待望の銀水校区コミュニティセンターの誕生となり、気運が高まり、いろいろ活動が容易になりました。

令和2年からは、コロナウイルス感染防止のため行事のほとんどを中止せざるを得ない状況になっていますが、1日も早く終息し元気な活動が出来ることを期待したいものです。

10年目の節目の令和4年に「コミュニティ助成事業」の助成金をいただくことになり、施設の充実と今後の運営に寄与することになりました。

大牟田市に目を向けると、この10年間には、寒波による断水、豪雨による被害発生、市長交代、市制100周年、ジャー坊誕生などなどがあります。

大牟田市をアピールするものとして、映画『いのちスケッチ』『向田理髪店』の大牟田ロケが行われました。

最近の自然災害や事件をみますと、少子高齢化、地域の結びつきの希薄化など生活意識が変化する中で、今こそ協働のまちづくりが大切ではないかと改めて考えさせられます。

設立10周年を機に地域コミュニティについて、設立の精神に立ち返り『いつまでも住み続けたい銀水校区』を目指してまいる所存です。

銀水校区まちづくり協議会に対しまして、ご支援・ご協力を賜っております皆様方に改めて感謝申し上げますとともに、各位の益々のご活躍を祈念いたします。

魅力あるまちづくりをめざし

銀水校区まちづくり協議会では、原点に戻り、
魅力あるまちづくりを進めています。



Q 校区まちづくり協議会はどんな組織ですか

A さまざまな地域の課題を解決するためには、それぞれの公民館や自治会、諸団体がバラバラに活動するのではなく、地域のあらゆる人たちが一体となり、意見を出し合い、共に協力し、活動を展開していく必要があります。

銀水校区まちづくり協議会は、コミュニティ活動がさらに活発に、より効果的に繰り広げるための核になる組織です。主役は地域に住む皆さん方です。

Q 公民館・自治会との関連は

A 公民館や自治会は、地域住民の相互の親睦や交流を深め、地域の環境を良くするための活動を行っています。主として、地域の防犯灯の設置、リサイクル活動、清掃活動などです。

銀水校区まちづくり協議会は、公民館や自治会など、単独では実施困難なものについて手助けをしています。車の両輪と同じです。



Q 校区まちづくり協議会はなぜ必要ですか

A 様々な地域の課題を解決するため、公民館や自治会が中心となって推進しています。公民館や自治会がバラバラに活動するのではなく、お互いが協力していく必要があります。公民館や自治会だけではなく、地域の各種団体（社会福祉協議会・交通安全協会・消防団・学校・PTA・子ども見守り隊・民生児童委員など）のネットワーク化や相互補完を図るとともに、地域の実情や特色を生かし、住民主体のまちづくりを行うことも大切です。

自然災害が発生した場合など、公民館や自治会並びにまちづくり協議会が果たす役割について、再認識をしていただきたいものです。「向こう三軒両隣」というのは昔のことでしょうか。個人情報保護もありますが、常日頃から気楽に挨拶できる環境を作ることが必要です。つまり『共助』の精神です。

銀水校区まちづくり協議会は、地域住民のニーズにきめ細かく対応し、持続可能な住み良いまちづくりの実現を目指しています。



Q 構成員メンバーは

A 銀水校区内の7つの公民館と10の自治会並びに各種団体（社会福祉協議会・小学校・中学校PTA、消防団、子ども見守り隊、民生・児童委員など）で構成しています。それぞれの団体がお互いに手を取り合い、地域の課題やニーズに応え、課題解決や連絡調整の場として機能しています。

Q どんな活動をしているの

A 『銀水校区まちづくりだより』でお知らせしていますように、校区民の親睦のための催事や健康増進を図る行事を行っています。校区体育祭・バスハイク・ニュースポーツ・がん検診・健康講座などです。それぞれの専門部が中心となって企画しています。



Q 加入の状況は

A 市内でも加入率が低い方です。校区内の加入状況は、自治会は良好ですが、公民館は50%を切っているところがあります。原因の一つとして、高齢化が進んでいることがあげられます。

Q 校区民に望むこと

A 一人でも多くの方が、公民館や自治会に加入していただくことを強く望みます。未加入の方は、5世帯以上で自治会が結成できますので、是非結成していただき、まちづくり協議会へ加入していただくことをお願いいたします。

銀水校区まちづくり協議会は、『いつまでも住み続けたい銀水校区』をめざし活動を推進しています。災害等が発生した場合など、公民館や自治会が個人では解決出来ない課題の手助けをしてくれます。（公民館や自治会が出来ないことについては、まちづくり協議会が手助けをします。）防犯灯設置や交通安全に関することは、公民館や自治会が積極的に行っています。

自分の地域の公民館や自治会がわからない、そういった組織がないなど、お困りの場合は、まず銀水校区まちづくり協議会へ相談してください。

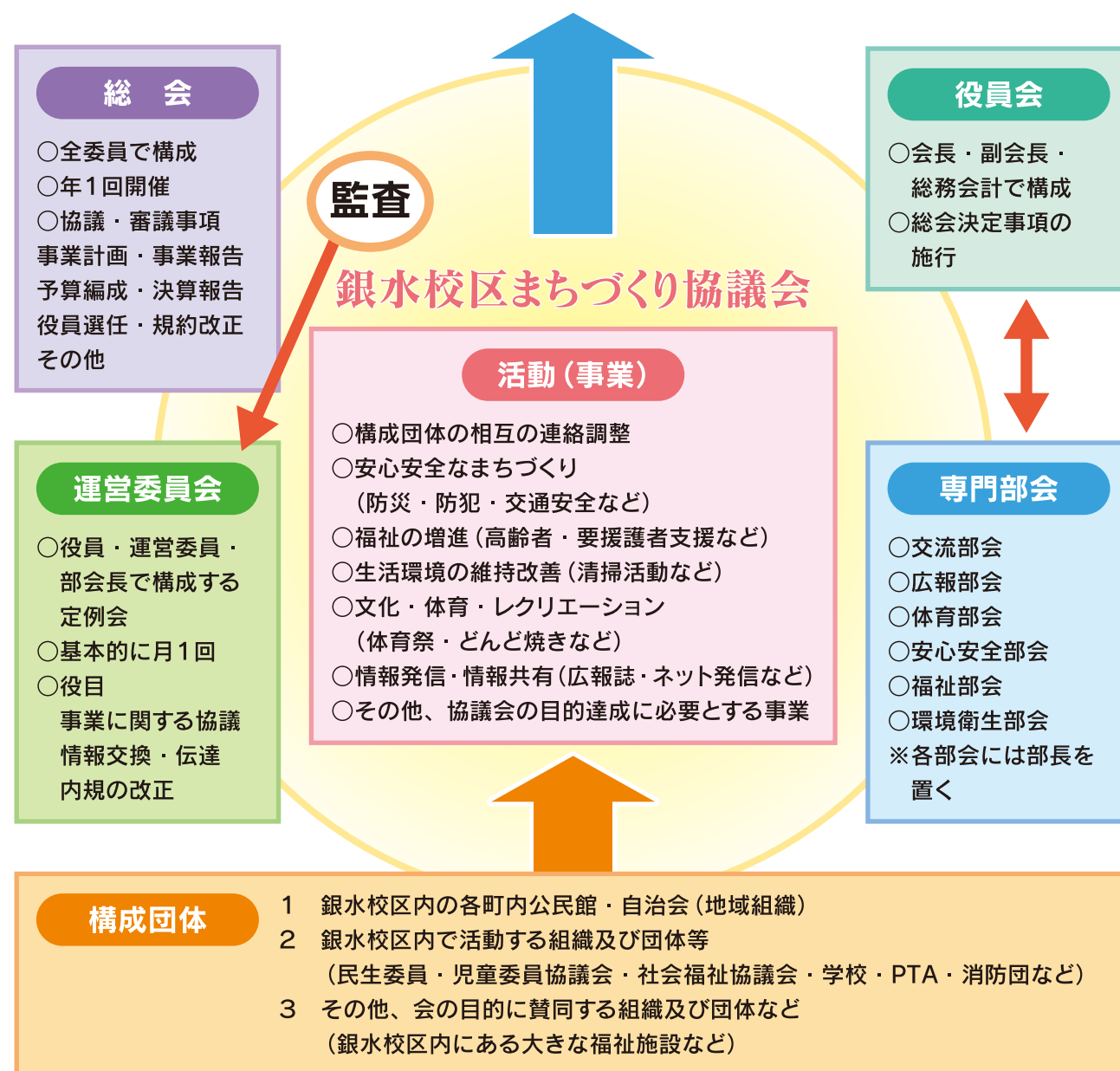


銀水校区まちづくり協議会 組織図



(目的)
目指す姿

いつまでも住み続けたい銀水校区



銀水校区まちづくり協議会行事



銀水校区まちづくり協議会は、
いろいろな行事を行っています。
令和元年度の例を示します。

月	定例会	総務・広報	事業	関連
4	15日(月)	総会資料	定期総会(23日)	校区民生・児童委員協議会会議(毎月) 銀水小入学式
5	14日(火)	会報発行	レクリエーションゲーム(26日)	校区社会福祉協議会評議員会 日赤募金 花いっぱいプロジェクト(通年)
6	14日(金)		ソフトバレーボール大会(16日) 校区献血会(18日)	リサイクル推進委員会 校区交通安全協会総会
7	16日(日)			暴力団追放市民総決起大会
8	16日(日)		子どもの遊び場	
9	17日(火)	会報発行	スローピッチソフトボール大会(15日) SOSネットワーク模擬訓練(22日)	銀水小運動会
10	15日(火)		校区ガン検診(13日) 校区体育祭(20日)	赤い羽根募金
11	14日(木)		バスハイク(2日) ニュースポーツ(17日)	銀水祭り
12	17日(火)	会報発行		歳末助け合い募金
1	14日(火)		どんど焼き(12日) 健康講座	
2	14日(金)		竹林整備	コミュニティ研究大会
3	16日(月)	会報発行	筍掘(29日)	銀水小卒業式 校区社会福祉協議会評議員会

花いっぱい絆プロジェクト

銀水校区を花いっぱいにしようと、銀水小学校と銀水校区まちづくり協議会などが中心になって行われているのが「花いっぱい絆プロジェクト」です。

みんなで育てた『ノースポール』は校区内の幼稚園・施設などに贈られています。

4年生によるこの取り組みの中では、『校区の宝』や『学校生活と地域とのつながり』を調べることも行われていて、小学校の学習発表会では活動の様子が発表されます。

花の季節が終わった後に採集された種子は、次の4年生に引き継がれて育てられます。



クリーンデー

銀水校区まちづくり協議会では、毎月第1日曜日を『クリーンデー』にしようということで清掃活動を行っています。自分の家の周りや道路までを含めた清掃で、5分～15分程度で無理をしないようにしています。

『花いっぱい』や『クリーンデー』により、きれいな住み良いまちになることが期待されます。



子どもの遊び場

銀水校区コミュニティセンターでは、夏休み期間中に、日頃子どもたちが経験しないような、いろいろなものも取り入れて『子どもの遊び場』を開催しています。

内容は夏休みの学習やスポーツチャンバラ、手品などで、田隈中学校生徒会代表もすいか割りやそうめん流しを手伝ってくれ、盛りあがりを見せます。



バスハイク

バスハイクは、銀水校区まちづくり協議会の活動の中でも特に人気のある行事で、これまでみかん狩り、梨狩り、柿狩り、りんご狩りなどを行ってきました。

毎年参加者が増えており、平成30年度のりんご狩りには150名が参加し、バス4台で唐津市に出かけました。

早くコロナが終息し、みんなで楽しいバスハイクに行けることを期待しています。



校区体育祭

例年開催している校区体育祭は、幼児から高齢者まで700名を超える参加者があり、賑やかです。令和2年～4年度は、コロナの関係から中止しました。



ニュースポーツ大会

毎年、銀水川調整池公園において、ニュースポーツ大会を開催しています。種目は、ペタンクとグラウンドゴルフです。小学生から高齢者まで多数の参加があります。



レクリエーションゲーム大会

校区民の健康と親睦を図るため、レクリエーションゲーム大会を毎年、銀水小体育館で開催しています。幼児から高齢者まで約300名を超える参加があり輪投げ・缶積み・ボウリングなどに挑戦しました。



球技大会

ソフトバレーボール大会

6月にソフトバレーボール大会を開催しています。事前の練習もあり、若者から少し年齢を重ねた人とのとても良い交流の場になっていて、毎年熱戦が繰り広げられています。



スローピッチソフトボール大会

9月にスローピッチ大会を開催しています。大きく弧を描かなくてはストライクにならないとか、バントが出来ないなどソフトボールと違いが多くあり、経験者だけでなくでも参加できる球技です。



防災訓練

万一の災害に備えた、防災訓練の様子です。
銀水校区まちづくり協議会では、災害に備え、毎年災害図上訓練や防災訓練を行っています。



カレーライスの炊き出し



防災体験学習会

令和3年11月20日 銀水小学校3年生を対象とした『防災体験学習会』を実施しました。学校周辺の危険な場所を見て回ったり、避難所においては、ワンタッチパーテーション作りやダンボールベッド作りを体験しました。



愛の献血会

銀水校区まちづくり協議会では、
校区民に呼びかけ献血をしていただいています。



早期発見・早期治療

～校区民の健康を願い～

校区民の健康アップ事業の一環としての『がん検診』を済生会大牟田ライフケア院敷地内で実施しています。

毎年、多くの受診者があり、『がん』に関する意識が高まっているようです。

死亡者の約30%が、『がん』によるといわれていますが、『がん』は、早期発見・早期治療をすることが大切です。



安心安全を願い

ほっとあんしんネットワーク模擬訓練

「ほっとあんしんネットワーク模擬訓練」に銀水校区まちづくり協議会も毎年参加しています。

平成30年度の訓練では、認知症役の方が所定の場所から離れられ行方不明になり、本番さながらの捜索を行うというハプニングもありました。訓練には、田隈中学校の生徒も参加してくれました。



子ども見守り

子どもたちの通学の安全を守るため、通学路の要所に、子ども見守りの方が立っています。銀水小学校PTAと銀水校区まちづくり協議会、民生・児童委員の皆さんです。



どんど焼き

毎年1月上旬に、銀水小PTAと、銀水校区まちづくり協議会の共催でどんど焼きを行っています。

どんど焼きは、地方によって名前に違いがありますが、五穀豊穡・家内安全を願う火祭りです。



竹林の整備

『筍掘とバーベキュー会』に向けて行っている、サン久福木裏山の竹林整備の様子です。古くなったベンチを新しく作り替えたり、階段を設けたりして、安全に筍掘やバーベキューが実施出来るよう整備されています。



筍掘とバーベキュー会

筍掘とバーベキュー会は毎年、3月末の日曜日に実施しています。

初めて筍掘をされた方もおられ、筍を探すのに苦労されていたようです。

